

本日発表の経済指標 (03年3月12日)

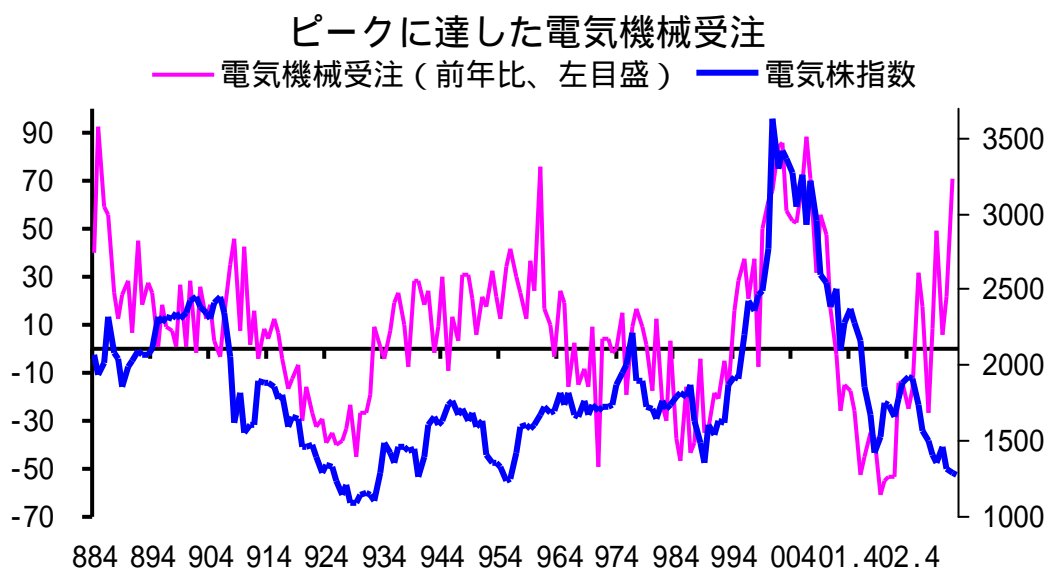
曾我 純

1月の機械受注、電気機械受注はピークに

受注総額は前月比+18.4%と大幅に増加した。民間設備投資に先行する民需(船舶・電力を除く)は7.0%増と2ヵ月連続のプラスとなった。製造業は11.4%増加したが、非製造業(船舶・電力を除く)は5.2%増にとどまった。製造業では影響の大きい電機機械が27.6%と急増したほか、一般機械と自動車工業も12.7%、6.7%それぞれ伸びた。非製造業では通信業は-0.3%と3ヵ月振りに減少したが、卸・小売業、情報サービス業が増加した。

前年比では製造業は27.0%増と2ヵ月連続の増加となった。非製造業は13.5%増と01年12月以来13ヵ月振りのプラス。電気機械は70.9%増と2000年2月のITバブル期以来の高い伸びとなり、ピークに達した可能性が大きい。一般機械と自動車工業も27.9%、39.5%それぞれ前年を上回り、ピークに近づいた模様。

電気機械株指数と電気機械受注の相関性は高かったが、01年以降、受注は堅調だが、株価は下落傾向を強めており、受注に反比例している。まもなく受注の伸び率は減少に転じる見通しであり、電気機械株指数はさらに厳しい状況に陥ることになる。



出所：内閣府「機械受注統計」
注：株価は月末